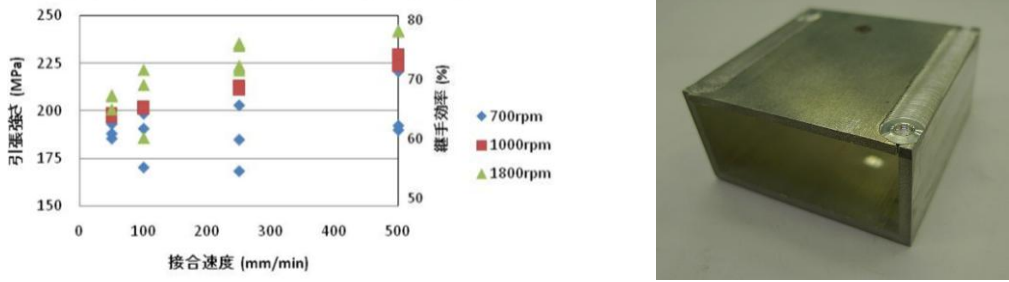


共同研究成果報告書

研究テーマ名 (新製品・新技術名)	摩擦攪拌接合による高機能アルミ部品製造に関する研究	
企業名等	有限会社 ファインフォーミング	
HPアドレス	fine@ued.janis.or.jp	
製品開発のために企業が利用した センターの業務名 (利用年度)	次世代産業創出共同研究 (平成24年度)	
【成果等の写真、イメージ図等】	 <p>アルミ中空品の試作</p>	
【成果等 (製品、技術等) の概要と特徴】	<ul style="list-style-type: none">◇ 工業技術センターのセミナーやインターネットを用いた特許情報の収集 (544件) と研究で摩擦攪拌接合の基本技術、得意分野や課題、参入企業と利用分野について学んだ。◇ 工業技術センターの研究内容から、実用化に資する課題として接合面や接合に適する部材形状、熱処理との組合せ、適合材などを知ることができた。 等	
【研究開発における企業、センターなどの役割】	<ul style="list-style-type: none">◇ 弊社は摩擦攪拌接合による物性の調査用実用アルミ合金 (AL+Mg+Si合金) の鋳造鍛造材を試作した。◇ 中空アルミ部品への利用方法を研究するためのアルミ薄肉C形材を提供した◇ センターは、摩擦攪拌接合およびその評を実施した。	
【製品や技術等の販売実績、今後の販売見込み】	<ul style="list-style-type: none">◇ 各種ピークルにおいて高級品と低価格品の2極分化が進む中で国内を主たる市場にするためには高級化戦略に対応する必要性があり、弊社は従来アルミ製であった保安部品をMg材の鋳造鍛造法で開発した。今後は更に高級品市場を軽量化で販路開拓していくために摩擦攪拌接合を活用して、マグネとアルミの複合化などを提案して、高級自転車や高級自動車に匹敵する価格の超高級オートバイなどの分野で新しいものづくりとして市場の確保を目指す。	
センターの 担当者	材料技術部門金属材料部 (部長 滝澤 秀一 担当 小松 豊) TEL: 026-226-2012 (直通) E-MAIL: kogyoshiken@pref.nagano.lg.jp	

※本内容は、共同研究の成果事例として公表します。